

第7回 向陽学府小中一体校開校準備委員会 会議概要

1	開催日時	令和5年9月28日(木)
2	開催場所	磐田市役所西庁舎3階 301～303会議室
3	出席者(向陽学府小中一体校開校準備委員)	
	学識経験者	元校長 前向笠地区長
	地区代表	大藤地区長 向笠地区長 岩田地区長
	保護者代表	大藤小学校PTA代表者 向笠小学校PTA代表者 岩田小学校PTA代表者 向笠幼稚園PTA代表者
	学校代表	向陽中学校長 大藤小学校長 向笠小学校長 岩田小学校教頭
4	出席職員	教育長 教育総務課長
5	事務局	学府一体校推進室

会議概要

1 教育長挨拶

本日はお忙しい中ありがとうございます。今年度も早いもので折り返し地点を迎えようとしています。夏は、酷暑という本当に暑い時が長く続きました。教育委員会の立場としても、子供たちの安全安心、暑さ対策、熱中症対策を心配しておりました。本当に保護者の皆様、それから地域の皆様、もちろん学校の教職員、いろいろ配慮していただく中で、体調を崩した児童生徒は、若干いたと思いますけど、大きな事故もなく何とかこの夏を乗り越えることができるかなと思ってます。本当にありがとうございます。

本日は、校名については、できれば結論に近いところまで、持って行っていただけたらありがたいと思いますし、校歌校章につきましても、大きな方向性を、皆さんの協議で導き出して行っていただければ幸いに存じます。いつも感じてるのは、それぞれの立場で、それぞれの御意見を、率直に伝えていただく、そんな姿勢に、本当に感謝の気持ちで一杯です。ながふじ学府ではこういう形で、校名とか校歌とかという話し合いはありませんでした。一つ一つ皆さんの意見を積み上げながら、創造的に作り上げていく過程を一緒に共有できるのは、幸せだなとか、ありがたいなというふうに思っているところです。ぜひまた、今日、一つの区切りになるかなというふうに思いますので、皆さんの御意見をい

ただきながら、皆さんの総意で、方向性を定めていただければありがたいなと思っています。

今日、後ろの方に、実施設計が完了したものですから、実施設計に基づいて模型、その奥にパース図ということで、実施設計を踏まえて、こんなイメージになりますという物を置かせていただきました。両サイドのものが、昨年度に、その時点でのイメージの物をプリントしておりますけども、おかげをもちまして、実施設計も完了いたしました。またその実施設計の内容については、今日もこのあと話があるかと思っておりますけども、各地域の皆様方に説明の場を設けさせていただきたいと思っております。地域の皆様、保護者の皆様方から御意見をいただいておりますスクールバスや通学路とかプールのことについても、保護者の皆様、地域の皆様にも説明の場を設けさせていただきながら、対応しながら進めていけたらと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

2 議事

(委員長)

皆さんこんばんは。インフルエンザとかコロナが流行っています。私自身も1か月前くらいにコロナに感染してしまいました。ぜひ皆さんもお気を付けください。

地域として、一つのところに、小中一体となったすばらしい学校を造っていただきたいという地域要望が、数年前に出されています。そういう動きというものをきちっと見定めた上で、確かに細かなことにつきましては、賛否両論というか課題もたくさんあると思いますが、乗り越えていけたらいいなと思っています。開校準備委員会もその一つになると思います。

今日は二つのことについて、できれば、方向を決定付けるとうれしいなと思っている次第です。資料の1と2、両方を1度に説明をしていただいた後で審議をするような形をとりたいと思います。

(事務局)

資料1、向陽学府小中一体校新しい小学校の校名案アンケート集計結果について、まず、地域へのアンケート結果の説明をします。こちらのアンケートにつきましては、自治会配布にて全世帯に配布、回答期間は5月15日から6月9日までの約1か月間、アンケートは2,900枚配布をさせていただき、そのうち回答のあったものが707件、アンケートの回答率は24.4%でした。結果につきましては、「向陽小がよい」が579件で82%、「向陽小以外がよい」が30件で4%、「どちらでもよい、分からない、答えられない」が98件で14%という結果でした。「向陽小がよい」という主な理由としましては、中学校と一緒にすることで一貫性がある、分かりやすい、覚えやすい。向陽という名称に馴染みがあるからという、準備委員会として向陽小を校名候補とした理由と同じものが多かったです。次に「向陽小以外」の意見として多かったものは、磐田原（いわばら、いわたはら）を名前に入れたものが一番多く、次にコスモスを入れた校名が多かったです。次に「どちらで

もよい、分からない」とした回答の理由につきましては、実際に通う子がいる家庭の意見を優先してほしい、他にいい名前があると思うが思いつかないという意見や、向陽という名称の由来や意味を知らないので答えられないという意見もありました。裏面にはアンケートの自由記述欄にいただいたご意見を、内容ごとに件数を集計したものを載せさせていただきます。通学路の安全対策、通学方法、通学バスの運行に関する意見が最も多く寄せられました。

続きまして、児童・生徒を対象に実施した新しい小学校の校名案のアンケート結果についてです。こちらのアンケートは、各小学校の4年生以上と、向陽中学校の全生徒を対象に、学校を通して実施しました。回答の期間につきましては地域と同じで6月9日までということで実施をさせていただきました。「向陽小がよい」が297件で64%、「向陽小以外がよい」が51件で11%、「どちらでもよい、分からない、答えられない」が119件で25%でした。次に「向陽小がよい」という主な理由としましては、地域になじみがある、分かりやすい、覚えやすい。各小学校から向陽中に通うようになるので、統合してできる小学校も向陽でいい。同じ場所にある一体校だからという理由が多かったです。「向陽小以外」の意見につきましては、地域より多くの意見がありまして、その中でも、磐田原台地とか磐田原というような名前を使った意見と、各小学校の名前を合わせた名前が多く、次に、コスモスを使った名前が多かったです。「分からない、どちらでもよい」とした理由については、他がいいが思いつかない。1人だと決められない。みんなで決めたいや、中学生では実際に通う子が決めればよい。こだわりがない。票が多かったほうで良いというような意見もありました。

アンケートの結果としましては、地域、学校ともに「向陽小がよい」という回答が1番多い結果となりました。

続きまして、資料2の校歌・校章アンケート集計結果をご覧ください。こちらのアンケートにつきましては、前回の開校準備委員会の最後のところで、いろんな意見が出たので、一度、皆さんにアンケートを取って欲しいという意見がありましたので、取らせていただきました。取る前に委員長から資料ということで、皆さんに送らせていただいた後、アンケートを実施させていただきました。それぞれ校歌・校章について1番から4番の選択肢いずれか一つを選んでいただいた結果が、そのような数字になります。校歌について、小学校のみ作成して向陽中の校歌はそのままだが2票。小中同じ校歌とするが9票。小中同じ校歌とするけども新たに小中一体校の校歌を作成する、向陽中の校歌をなくすというのが1票です。その他として、新小学校校歌作成と一体校としての校歌、愛唱歌を作成するが1票です。

校章につきましても、同じような形でやらせていただきましたが、小学校のみ作成するが2票。小中同じ校章とする、今の向陽中校章に手を加えるというのが9票。小中同じ校章とする中で新たなデザインを募集するが1票。その他として、新小学校校章と一体校としての校章を作成するというものがありました。

(委員長)

まず校名案について、事務局から説明がされましたけれども、何かアンケートの結果を見て、御意見・御質問、お考えがあれば出していただきたいと思います。

子供たち 467 人のうち 297 人、64%が向陽小。子供ながらに、どのような判断基準を持ってそのように答えたか、細かいことまで分かりませんが。また地域の世帯アンケートにつきましては、24%の提出率ですが、82%が向陽小でいいのではないかという意見。結構この辺のパーセンテージは重みがあるのではないかと思ってしまうんです。特に御意見等がなければ、このアンケートを見ますと、「向陽小」でいいのではという判断を、この準備委員会ではさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員)

私もこの結果を見れば向陽小でいいでしょうが、自治会でやったアンケート回答率が 24.4%と低いのがちょっと気になる。皆あまり関心がなかったのか、ちょっと残念だなと思っています。別に反対するものではありません。賛成です。

(委員長)

お子さんのいる家庭とか、教育に関心のある方につきましては、そんなことはないと思いますが、学校には関係ないとか、一体校そのものをそんな気にもしてないとか、現実的にはそういった家庭がまだまだいるんだなと思います。世の中って思うようにはいかない、難しいところがあるなと感じます。

それでは、校名案につきましては、向陽小ということで、委員会の結論としていきたいと思っています。よろしいでしょうか。（異議なし、皆拍手。）

(事務局)

この後のことについて、開校準備委員会で校名案を決定していただいたので、委員会として、今度は、教育長のほうに要望書という形で提出をし、教育委員会の議案に入れて、12月の定例教育委員会で御承認をいただく予定です。そのあと、例規審査委員会等を経て、市議会の2月定例会で、条例改正の議決によって、校名が正式決定されるというような流れになりますので、御承知おきください。

(委員長)

それでは、二つ目の議事に移りたいと思います。校歌・校章についてですけれども、皆様方には、私から個人的なチラシを事務局経由で送付させていただきましたが、決して皆さんの思いを変えたいとかそんな気持ちでやったものではありません。その文書にも書きましたが、前回の委員会で私自身の考えを言ってなかったものですから、皆さんの御意見を踏まえた上で、私としては一体という部分を重くみたい。正式には小学校、中学校それぞれあるわけですが、一つになるというところから判断をし、個人的な考えではありますが出させていただきました。結果として、これがどうのこうのと細かいことは分かりませんが、数の上では、校歌も校章も一つにして、向陽中の校歌を一体校の校歌にして、校章については、向陽中のものに少し手を加えるような形で新しい校章を作っていくという

2番のところが、圧倒的な数になったわけですが、実はこの9という数字の中に私の1票が入ってません。ですから10票になる。委員全員で15人です。15名のうち私を含めた10名が、校歌も校章も2番という判断が多かったわけですが、この結果を踏まえて、皆さんから、御意見・御発言をいただきたいと思います。

(委員)

アンケート集計したってことは、多数決ですから、決定と同様な大きな意味がある。これに至ったのは、委員長の細かく懇切丁寧に説明してくださったことに、皆さんが同意したということ。私は小中別々にという意見で両方1番と回答した。これに固執するわけではありませんが、校長室が二つ、校名も二つあって、表の看板に二つあったらやはり二つかなと思っている。ただ、一貫校的なイメージを出してカリキュラムを組んで、小学校中学校の枠をもっと取って、何かそういうものももっとこう、前面に出していただければ、全部一つで、私は2番でもいいと思っている。

(委員長)

ありがとうございます。一つになって、9年間の学校生活。良さを全面に出すような教育活動というか、そういう意味で校歌・校章も一つ、あえて一つにする。屁理屈みたいな言い方になってしまうが。ぜひ教育の中身につきましては先生方をお願いしていくしかありませんので、先生方一人一人、なぜ一体校なのか、校歌も校章もなぜ一つなのか。この辺のところをきちんと意識した上で子供たちと教育に向き合っていていただきたいと思います。理屈の上では、法律の上では、別々だというのは分かりますけど、その杓子定規的な考えをさらに一步、そういう教育、そういうのも期待をしている。私としてはそんな感じにいる。

あと校歌なんですけど、皆さん方にも、向陽中学のホームページに載っている校歌、それをちょっと、分かりやすく、一部どう見てもおかしいと思ったので、ちょっと手直ししたものを皆さんにお分けしました。一番は朝、二番はたぶん昼間の部、3番は夕方の景色を歌詞にしている。それぞれ思いが書かれていますけど、唯一、「朱（あけ）のいらか」という、赤く彩られた屋根が見えるという意味の句になりますけれど、最初の木造校舎のときに、赤い屋根だったのでそうなっているのですが、今はそういう面影も一切ないんですけど、校歌だけのことになっている。矛盾するといえば矛盾していますが、歴史を連ねた学校でするので、子供たちにとってこれいったい何の話だろうっていう意味が通じないところあるかもしれませんが、今のところはうまく説明していく。また一つの工夫としては、校舎のどこかに、「朱（あけ）のいらか」のいわゆる朱の色がどこかに象徴としてちょっと残すような、見たときに朱の色があるとか、そうすると意味が通じていく。決して向陽の校歌で、小中一緒になってもそんなに、教育の目的、目指す方向がそんなに変わるわけではないと思っています。これは私の考えです。特に御意見なければ1番数の大きいものをとってという方向で、進める形になろうかなと思っています。

(委員)

異議は毛頭ありませんが、やはりここまでに至るといふか、これからのことを考えたりすると、3地区が、小学校が一体となっていくといふと、皆さん喉ぐらいまでは、いろいろと言いたいことが、まだたくさんあると思うんですが、ここに至って、一緒になって、これからのことを考えてやっていこうと、今、委員長が言われたように、そういうふうな思いで頑張ってやっていこうという、一体感といふか、一つになってやっていこうという思い、そういうのが大事かなと思っています。

あともう一つは、この向陽中の校章が見慣れているといふか、今の向陽中の校章に手を加えるということで、「中」を取っちゃうといふのが、一つの案として出ているが、真ん中の「学」といふ字が、どの高さになると格好がつくかなといふ、そんな感じがちょっと気になっています。

(委員長)

向陽中学校の資料を、この前校長室にお邪魔して見させてもらおうと、こちらの校章、地域にアンケートをとったみたいで、今井地区（現在、袋井市）の何とかさんといふ方が、あのデザインを出して、賞金付きだったようです。これに手を加えるということだが、具体的にどうしたらいいのか、まだ相談の余地があるんですが、子供たち、中学生なんかどうかと。個人的には思っています。

(委員)

せつかく、校名のアンケートも子供たちにとつたんで、校歌・校章も子供たちの考えを重視してあげたらどうかと思いますが、いかがでしょうか。私たちが決めることでなくて、これから通う子供たちの意見を、いろんな形で反映してあげるべきでは。親しみを持たせるため、いかがなものでしょうか。

(委員長)

委員のアンケート結果を踏まえて、子供たちに意見を聞いたかどうかといふ、御発言でしたけど、それについてどうでしょうか。感触を少しか確かめるという意味です。何か元に戻っちゃう心配もゼロでもありませんが、今度は対象を子供たちにしていく。校長先生方どうでしょうか。

(委員)

全くゼロのところから子供たちに聞くのか、中学のものに手を加えるということで子供たちに聞いていくのか。やり方によっては元に戻るようなところも出てくるかなと思つたのですが、中学のものを少し改良してといふアンケート結果を生かして、その上で子供に聞いてみるのかといふところは考えないといけないと思つました。

(委員)

私はこの校歌のことを小学生に聞かれるのはどうかと思うんですが、今言つたような意味とか何かといふのが、校名は小学校4年生から聞いたといふことだが、校歌とかいふのは初めのときには非常に難しいんじゃないかなと思つてしまつた。どこまで聞けるか、そんな感じがしないでもないです。

(委員)

ここの委員の意見として、10対3で小学校、中学校別々とは言わないわけです。これが我々委員の総意ということで、持って行ってスタートして、あるとき、やっぱり小学校から、PTA含めて、我々も別なものが欲しいなという意見があったら、その時作ってもらったらどうですか。ある程度決めておかないといけないものはもちろんありますが、これは何時作っても、今作らなきゃいけないものではないのでは。岩田小学校ですが、私が小学生のときは校歌ありませんでした。その後作られたので、歌った記憶は全然ないです。それからもう何十年も経つので、歴史の重みがちゃんと付いてきてるので、いい歌になってきているなと思ってる。そんなふうに時代に合わせて、中学校と小学校と別々の歌になったり、変わっていてもいいんじゃないかなと思います。

(委員長)

校章のイメージ、子供たちに無いんじゃないか。昔は中学に学帽があって、校章があったんだよね。だから、突然、子供たちに聞いても、こちらが意図する反応があるのか、意見を導き出せるか不安がある。

(委員)

校章だって分かってる子ばかりじゃ絶対ないし、もしかしたら、何でこれ、何の意味があるんだろうって子が多いかもしれない。

(委員長)

あまり通学路とか、スクールバスとか、そういう関心度に比べると、ほとんど関心無いんじゃないですか。また子供たちに聞くっていうのも、そこまで必要かなと思う。こうなったらもう3分の2が、これで行こうよだったら、それでみんなに伝えていく。そういう中で何か特別なことが、声が出てきたときには、考えないといけないこともあるかもしれないが、通学路等に比べれば反応はないんじゃないかと、甘い考えかもしれませんが、そのような感じがします。

(委員)

8月27日の静岡新聞に新しい学校の新設に関する校歌とか校章とか、これからの在り方っていうのが載ってた。三つの学校がなくなって新しい学校が出来る。そうなってくるとやはりそこは、新しい小学校という看板が1枚できるんだということがあるので、何か形になるものを子供たちのために作ってあげたいなという思いがある。この内容をひっくり返すとか、そんなことはなくて、子供たちに、例えば同じようなことを投げ掛けたときに、自分たちで校歌作ってみたいという意見が、例えば過半数を占めたら、子供たちのそういった意見も尊重してあげる。中学の子たちは音楽とかいろんなことで経験してるから、やってみたいという人がいると思うんです。そういった意味合いでも、もうちょっと子供たちの参画とか、PTAの方の参画とかしていかれたらいかがかなという提案です。そうしてくださいとかそうするべきだとかっていう話ではない。方向性は、私たちが考えた方向性で行こうという、バックボーンのもとに、実際に通学する子供たちが、どう

いうふうな思いをしているか聞いて、足して、より良くしてったらどうかなという意味でアンケートどうですかと言わせていただいた。

(委員長)

委員会のこういう集計の結果からすれば、やはり2の方向でいくという一つの判断をできればしていきたいと思います。ただ、今おっしゃったような思いを、少しでも取り入れるということを考えたら、例えば、こうなったんだよということを、保護者とか先生方から、子供たちに、こういうふうな方法を委員会として決めたんだけど、皆どうかとか、そういうフィードバック、ここの意思を逆に返して、その辺の感触を学校やPTAに少し、そういう場面をお願いすることで、少し意見を反映できる。地域に下ろすまでのことはないと思います。校章自体の印象とか、自分たちの学校という意識をそういう気持ちを持たせる上でも、やはり保護者、児童生徒さんにここの意思を伝えて、何か反応をいただくというような場面があってもいいかなとそんな感じを持っています。ここの意思としてはアンケートの2番。そういう事を、学校やPTAのほうに投げて、フィードバックというか、その辺のところの感触を聞くような手だてを考えたいが、事務局どうですか。

(事務局)

校名もそうですけど、校章・校歌も、準備委員会の話し合われたことを一応決定事項として、どう伝えていくかが大事だと思いますので、ここで決まったからもう何も聞かずに進めるのではなくて、ここではこうなりましたけども皆さんどうですかということは大事だと思います。その方法をどうしたらいいかというのは、こちらでも考えていきたいと思いますが、伝える方法が少し難しいかなと思います。保護者を通して、子供たちにも聞いてもらいながら、もし何か意見があれば吸い上げていくという形でやって行ければと思います。いろんな学校の情報を見ると、校歌は無くても新しい学校をスタートして、新しい学校になってから、生徒会が中心になって作り出したとか、そういった学校もあるのは確かですので、例えば、これで、中学校の校歌でスタートした後に、小学校のほうから自分たちのほうが欲しいということがあれば、それは別に作ることは可能だとは思っています。ここで決められたことが、ずっとこの先、何十年も続くというわけではなくて、またその中で、新しい小学校の校歌が、子供たちの手によって、作られることはあるのかなと思います。子供たちが学校で色々な替え歌を作ったりだとか、学校によっては昔だったら何とか音頭みたいなものがあったり、学校独自の歌を作っている学校が結構あるなという印象があります。そんな中で、小学生が自分たちの歌をとということで、出てくる可能性も無きにしもあらずと思っています。

(委員長)

委員会としては、小中同じ校歌・校章で行くという委員会としての結論。これでよろしいですか。また、そういう判断に、子供たちや保護者の皆さんが、どうお感じになるかっていうのをフィードバックするような手だてをとる。こんなことで行きたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それにプラスして、校章をどうやって決めていったらいいのかということになるんですが、今の中学の校章に手を加えるっていう形になるのですが、これも当然、考えなければいけないのではない。先ほどポロっと子供たちにアイデア募ったらどうかなんていうことを先走って言ってしまいました、これについていかがでしょうか。

(委員)

校章も、手を加えるということと、新たにデザインを募集するという方法にアンケートの方は分かれています。手を加えるとした10名の方は、どのくらい手を加えるということを想定してこれを選んだのかということが気になっている。アンケートの時にもらった資料に載っていた「中」という字を抜いただけのものを、これでいいと思っただけの回答なのか、自分の中に、こう手を加えたいという想定があつた回答なのかというのが気になりました。自分は新たなデザインでという方に回答させていただきました。もしよろしければ、2番と回答した方に意見いただければと思います。

(委員長)

線引きは難しいですね、簡単に言うと、デザインっていうのは。今の中学の校章を示し、できればこういうのを、ちょっと大切にしながら、新しい校章を考えていただきたいぐらいしか言えないじゃないかな。デザインでするのでなかなか難しい。ひょっとしたら、今の向陽の校章とは関係のないものが来るかもしれない。分からないです。関心を持たせるというか、学校に関わりのある、それを考えることによって、小中一体校に、僕は、私は、通うんだとか、保護者も自分の子供がそこに行くんだとか。そこが1番大事ですよ。結果としてデザインが決まってくるんですよ。

(委員)

自分が校章の写真を見たときに、やっぱり上のところ、中学っていうのが、何か「中」がなくなって、バランス感的に、ちょっとあれかなと思ったので、絵を入れるのか。「小」を加えるのかっていうところは考えてないですけど、小学生とかの募集とかで、校歌よりデザインの方が案は出るかなと思ったので、そのところは募集とか、そういうところでもいいかなと思ったので自分は2番に入れました。

(委員長)

真っ新な状態から校章をデザインしてもらうんじゃなくて、今ある向陽中学校のデザインを参考にしながら、新たな一体校の校章を作ってみて応募してくれますかくらいでいいかなと思っています。あの形に無理やり当てはめる、そこまで強い気持ちは僕にはないです。結構なかなか洒落たデザインなので、愛着はあります。自分も卒業生なので。

校章の決め方、やはり子供、小中学生にアイデアを募るような感じが1番いいですかね。当然そこに保護者が絡んできますけど。教室の中で、図工・美術の時間に書かせるわけじゃないでしょ。考えてきて、応募してのような感じになるんじゃないですか。何となく見えてきたような感じがするんですが、事務局どうですか。

(事務局)

ありがとうございます。校章については、向陽中の校章を見たときに、すごい変わった校章だなと思って、これを無くすのはちょっともったいないと思いました。そんな中で例えば向陽という文字で器のようになっている所はそのまま、これを土台として、小中一体校としてふさわしい校章を考えてもらうということが、小中学生にできればいいのかなと思います。事例として、浜松市の庄内学園は、中学生が校章のデザインをしてそれが通ったということがあったり、静岡市の方でも、卒業する中学3年生がみんなで作えたものが、校歌になったりだとかというものがあつたりします。今の中学1年生の子たちは、申し訳ないんですけどこれから先ずっと仮設校舎で生活をして、最後、新しい校舎には少しは入ると思うんですけども、そして卒業していく中で、何か一つでもこういったものが、自分たちが考えたものが学校に残るといふものがあれば、それはそれで、その子たちにとって、ずっと心に残るものであるのかなという思いはあります。その子たちだけではなくて、今の中学生の皆さん、小学生も含めて、例えば、デザインを募集して、その中で皆さんに見てもらいながら、こういったものがいいんじゃないかというものが出れば、それに越したことはないのかなというふうに思っています。あとここで話し合うこととしては、校歌がもしそのままいいというのであれば、先ほど言われたように、今後、保護者の方に下ろしていきながら、考えを聞いたり、校章も同じですけども、そういった流れになっていくのかなと思います。

(委員)

校章の関係なんですけれども、案外「中」だけとっても、バランス的にはそんなに問題ないような気がするんです。新たなデザインというよりは、「中」だけ取るだけでいいかと思うんですけど、生徒さんにお任せするでもいいかと思います。

あと1点気になるのは、著作権というか、ないとは思うんですけど、歌詞のほうも多分、ちゃんと作った人がいて、一言変えちゃうだけでも、それは大変なことになると思いますので、その点だけしっかり確認していただければと思います。

(委員長)

デザインを引用したりなんかするというと著作権が絡みますので、作成者ははっきりしてますので、その辺のところは、その方が、御健在かどうか分かりませんが、やはりきちっとすべきことはしていかないと、勝手にやるわけにはいかないので、気を付けないといけないと思います。

(事務局)

校章については、ちょっと調べさせていただいて、特に学校の校章については、公募であっても、最終的にそれを承認し使用している教育委員会の方に著作権があるというようなことでしたので、もう一度調べては見ますけども、これを少し手直すことについては、特に問題ないのではないかと思います。一般の方が勝手に、その校章をどこかにプリントしたりとかTシャツにしたりすると、それは教育委員会の許可を得てからそういうことをやってくださいというように言われているようなので、基本この校章の著作権

は、公募であったら、教育委員会に帰属するというふうになっていますので、今回、公募をして、それを学校の校章にということになったものですから、恐らくそれは著作権については、磐田市教育委員会にあるということになると思います。

(委員長)

よろしいでしょうか。議事の方は以上とさせていただきます。

3 連絡事項

(事務局)

それでは、連絡事項に入ります。レジメには書いてありませんが、初めに、質問事項にも書いてくださった方がおりますけれども、制服の検討の進捗状況を学校の方からお知らせをさせていただきます。よろしくをお願いします。

(委員)

岩田小学校ですが、現在、校服・制服があります。来年度、6年度の入学生、入学児童については、制服を自由化したいなと思っています。お兄ちゃんお姉ちゃんが、使っているので、お下がりを着るっていうのももちろん、OKなんですけれども、3校のうち他の2校は私服になっているということなので、その方向で行きたいなと思っています。在校生についても同様に、現在制服があるわけですが、その着用については、全て自由にしたなど。それに伴って、来年度、6年度～7年度については、制服を着る子もいれば、私服の子もいるという混在状態が続いていくかなというふうに思っています。この件については、先日9月15日にPTA委員会を開かせていただいて、役員の皆様には御承認をいただいています。その際に出た質問で、制服はそのような形になるんですが、別件として、体操服とかはどうなるのかというような御質問もありました。現時点においては、制服のみ自由化するっていうことで話を進めさせていただいて、業者も絡んでいるものですから、閉校までは、体操服については、岩田小というプリントした体操服が在庫であるものですから、そこまでは使っていく。一体校の体操服の買換えの時期、デザインが決まれば、試行期間というか、早めにこういうのが出てくると保護者としては、例えば買い換えるときに、一体校に向けての物を用意できるのでありがたいですという御意見もありました。

(事務局)

それでは次、次回の開催日時についてですが、今回は11月20日の月曜日、15時30分から17時、ちょっとお仕事ある方もいらっしゃるかもしれませんが、ぜひ御都合つけて、お願いしたいと思います。場所は今回と同じ西庁舎3階、301から303会議室となります。開催通知は後日送付させていただきます。

次に、校名アンケートの結果の取扱いについてですが、本日は回収いたしません。ただし、開校準備だより等で皆様に報告するまで口外しないようにお願いします。

続きまして、実施設計の完了説明会についてですが、向陽3地区で1回ずつ開催します。

自治会回覧で開催日をお知らせしていると思いますが、10月19日の木曜日が岩田地区、10月25日水曜日が大藤地区、10月30日の月曜日が向笠地区となります。いずれも19時から20時30分までです。今回は実施設計完了の説明ですので、いろんな意見がこれまで出されているバスとか通学路、プール等の話はいたしません。バスや通学路の説明はまた別の日時を設定して行う予定です。

続きまして参考資料の説明をさせていただきます。まず、1枚目のスクールバスの運行基準と、運行対象自治会についてです。バスや通学のことについてPTAの皆様から問合せがあるということをお聞きしています。スクールバス運行基準、通学距離の基準等について記載がしてありますので、またこれをお読みいただければというふうに思います。それから、裏に行きますと現在のスクールバス対象自治会と、想定人数が書いてある表があります。現在想定されているものですので、台数や人数は、決定ではありません。前回この想定を表は、第4回の建設検討会でお知らせをしてあるんですが、それと、人数が、変わっています。おおよその人数が分かってきましたので、できるだけ正確な人数を今後も皆様にお知らせをしたいと考えています。

続きまして、次の資料ですが、向陽学府小中一体校への通学路の検討についての依頼というのですが、こちらにつきましては、大藤小と向笠小のPTAの役員の方に配布を、学校を通してさせていただきます。準備委員会でも検討する時間を設けたいと思っております。岩田小につきましては、ほとんどがバス通学、小学生、中学生もバス通学になりますけれども、また別の方法で、例えばバス乗降場までのことであるとか、バス停のこと等について検討していきますので、よろしく願います。また、中学校の通学路につきましては、変更がないと思いますので、気になる箇所がありましたら、また学校の方に申出させていただきたいと思います。

最後になりますが、大藤小プールの活用説明会で使用した資料です。保護者の方からの問合せが、例えばPTA会長さんのところにあったり、学校にあたりするとお聞きしましたので、こちらをよくお読みいただいて、説明いただくか、もし、それではちょっと対応出来ないっていうことであれば、学府一体校推進室まで、連絡するように伝えていただければと思います。特に気になるところというのは1番最後の方の課題のところか検討事項かなというふうに思いますけども、これにつきましても、今年度の終わりには、どこら辺まで進んでいるのかということにつきましては説明をさせていただきたいというふうに思いますので、よろしく願います。

また、恐らくパース図とか、模型とか見てない方がいらっしゃると思いますので、終了後、お時間あれば見ていただきたいと思いますと思います。

(委員長)

スクールバスで中学生も一部乗る事になっているが、バスじゃなくて自転車で走ってもいいわけですね。ただ、今日はバスに乗るけど、明日はバス乗らず自転車で行くという、そういうことはダメなんですか。

(事務局)

バスは年間利用するという事で申請を出していただくということにしていきたいと思えます。よろしくお願ひします。

(委員長)

実施設計完了の説明会について、これは学校の施設設備がこうなるよというイメージを、皆さんに説明して、周知を図るためにやるのだと思えますが、とはいうものの、色々質問等があると思えますが、岩田地区の人は岩田地区という言い方でいいですか。言うことは同じだと思えますが、今日はちょっと都合が悪いので向笠だけ大藤行くとか、そういうこと可能ですよね。たしか。

(事務局)

そのとおりです。御都合のつくところに行っていたらということで、3回予定をしておりますので、よろしくお願ひします。

(委員長)

先日向陽中学行きましたら、コンテナに、備品が山と積まれてたり、野ざらしになってたわけですね。もったいないから、個人的に、あの机、家で作業台になるなど、事務局に連絡したら、勝手に持って行ってはいけないと言われた。いやそれは当然のことだと分かってるんですが、どこかの学校なんかで備品を住民に、入札するのかどうか知りませんが、どうせ捨てるんだしたら活用してもらおうという動きもあるようですね。果たしてどの程度この新しい小中一体校を造るため備品が捨てられるのか、ちょっと気になる部分があつて、可能なら欲しい人にあげてもいいのかなというのを感じたことがありましたので、参考までに、そういう人がいるということをお願ひしていただきたいなと思えます。

(委員)

その件で、備品もそうですが、各小学校に、大体150年間分の資料があります。それは、新しい学校の中のどこへしまうのか。それとも、各小学校の校長室に全部詰め込んでおくのか。どのように、文書、写真類を保管するのかお願ひしたい。

それから、先ほどの制服、体操服の話でしたが、新しい学校での制服うんぬんは、タイムスケジュールを見ますと、PTAさんを中心に、去年からも検討に入っているスケジュールですね。それは、ここでは、検討をやりませんか、やりますか。それを知らせてほしい。

それと三つ目、通学路は、子供が学校へ行くまでの各個人のお宅から学校までと考えてもよろしいですか。それとも、学校が指定した集合場所から学校まで、もしくは学校から500メートル以内のところだけとか。通学路の考え方が、いろいろ伺ってもはつきり分からない、教えてくれない。その辺をちゃんとはつきりさせた上で、安全なための通学路の条件等もちゃんと示していただいて、この委員会で話をしてもらい、検討をしてほしい。たまたま昨日、福井県鯖江市でブロックが二つ落ちてきて。小学校6年生の男の子がケガをしたというニュースがありました。ああいうブロックの検査、通学路において、やって

もらわないといけないと思う。以前にも大阪で、プールのところに積んであるブロック塀が倒れて、小学生が亡くなりました。これ再発事故です。要は、再発させないための通学路、よく検討してもらいたい。特にブロック塀なんか当たり前に、そういうものを全部これに網羅してもらって、安全点検をするという、チェックリストが欲しい。岩田地区の場合はスクールバスが出るので、スクールバスの場合は学校まで通学路じゃないと思うんですけど、例えば契約で、学校での部活に自転車で行かなければいけない日がありまして、通学路になりますので、その辺は教育委員会で、スクールバスの臨時便を出していただけるのか、それとも、それは、新たに通学路と指定させてもらうという格好になるのか。そういうのも知りたい。部活というと、土曜日とか日曜日もありますんで、その日はバスないよって言われると、もう自転車で行くか何かしかない。そういうこともスクールバスについては、入れてほしいなと思います。

(事務局)

文書につきましては、それぞれの3小学校が無くなってしまうということもありますので、歴史文書館等と相談しながら進めて行きたいと思います。

制服については、ここでは検討はいたしませんので、基本、学校・保護者が主体となって決めて、それを報告する場所として、ここを使っていただくというような形です。

それから通学路については、自分も専門ではないのではっきりとは言えないですが、自分が今まで経験してきた中では、集団登校しているところについては、集団登校の集合場所から学校までがいわゆる通学経路なんですけど、特にその間で、道路に支障があるとかというときには通学路点検なんかをして、こちらに上がってくるということです。ただ、保険の関係になると、自宅から学校までというようなことになってくるかなというふうに思っています。通学路につきましては、本当に大切なところだと思いますので、いろいろ御意見を伺いながら決めていきたいと思います。部活動のバスについては、次の契約するときに、そういう仕様書を出してお願いすることになります。基本は土日も、その部活があるときも含めて、委託の方には出していきたいなというふうに思いますので御承知おきください。また決まりましたらお知らせをします。

(委員)

補足ですが、備品の関係は、いらぬような物でも、市の方のグループウェアに載せてもらって、他の学校や部署へ情報を流す等検討してもらったり、いろいろな方法で、なるべく捨てないようにはしていますので、御承知おきください。

制服については、基本的に、今、PTAの役員さんとか、学校の校長とかと話しはしてまして、色々と買われたり、着られたりというところでPTAさんが中心になるものから、その中で向陽学府では、小学校の方は私服の方でどうかというような意見にまとまっているような形になってます。中学の方は、全市的にアンケートをとってまして、小学校4年生以上の保護者と中学生等に意見をもらって、今集計してるところです。そこで分かったことは、中学の制服については、金額であるとか、夏の暑さであるとか、多様性で

あるとか、様々なところで、色々な思いを、特に小学校、中学校の保護者の方は持っているというのが分かりました。また紹介していけたらと思います。

最後に部活ですけども、今市の方でもやってて、土日の部活動とかを、地域に移すというような話も出てますので、一概に全部、中学校でやっていくかどうかというところについては、この先、ちょっと様子見ないと分からないともあります。いろいろ変わってるところが出てきてるといふとこだけ、紹介はされてますので、部活の在り方もちょっと変わってくるよというところだけは承知しておいてください。お願いします。